

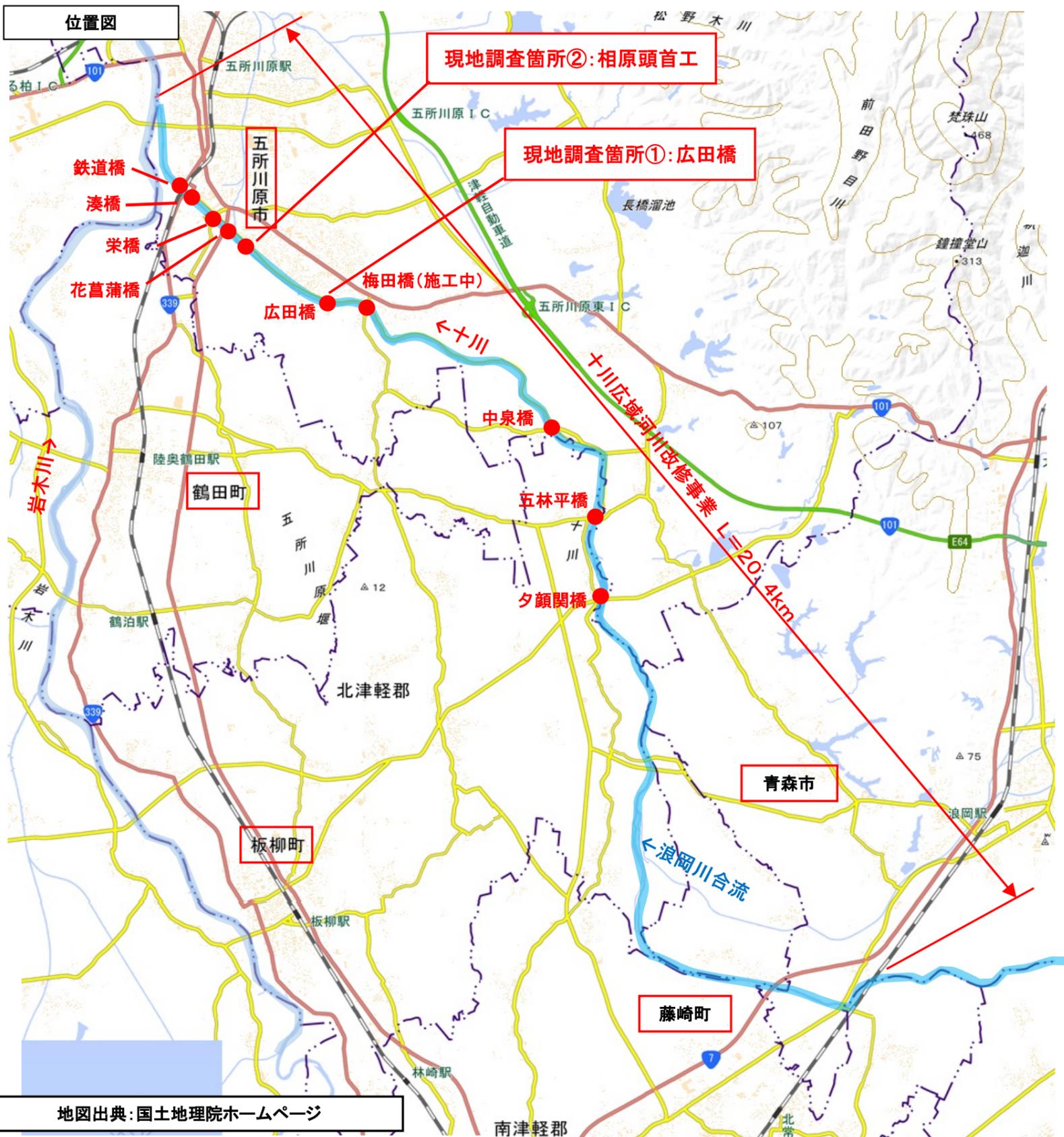
平成30年度 第2回青森県公共事業再評価等審議委員会

現地調査 資料

平成30年8月27日

青森県 県土整備部 河川砂防課

現地調査箇所 説明資料



地図出典: 国土地理院ホームページ

現地調査箇所① 広田橋付近

・岩木川の合流点から広田橋までは、新たな堤防を設置済みであり、現在は広田橋上流の築堤、梅田橋の架替を進めている。



現地調査箇所② 相原頭首工付近

・下記の通り大型構造物が集中している区間において、河川の拡幅に伴う構造物の改築を実施してきている。



1. 事業概要

- 事業名： 広域河川改修事業
- 事業箇所： 十川（五所川原市外3市町）
- 事業期間： 昭和26年度～平成40年度（予定）
- 事業費： 26,000百万円
- 事業評価： 平成30年度 再評価（再評価後5年）

2. 事業の目的

岩木川の右支川である十川は、その源を黒森山に発し、五所川原市市街地を貫流し、岩木川に合流する流域面積は約300km²、流路延長は約31kmの一級河川である。また、十川が合流する岩木川本川は、大臣管理区間となっている。

当河川は、現況流下能力が低く、これまでに度々浸水被害が発生していることから、自然環境の保全に配慮しながら河川改修工事を行い、概ね50年に1回の確率で発生する規模の洪水を安全に流下させて、十川沿線の人家や田畑を洪水被害から守る。

3. 工事内容等

- 主な構造物： 河川改修延長 L=20,400m

築堤	L=40,800m	}	（左右岸）
掘削	L=20,400m		
護岸	L=4,300m		
橋梁	N=11基		

- 進捗状況： 平成28年度までに、相原頭首工等の多額の費用を要する大型構造物の改築を完了させる等、順調に事業の進捗が図られている。

今後は、広田梅田工区における築堤の完成を目指すとともに、さらに上流の工区においても河川改修を進める。